

## 市重要文化財に 新たに2件を指定

市教育委員会は昨年12月20日、「含暉院旧書院障壁画 附 納め箱」(佛通寺所蔵)と「三原城本丸大広間建築部材」(三原小学校所蔵)の2件を重要文化財に指定しました。障壁画は桃山時代の水墨画家である雲谷等顔によって描かれたとされるもので、アシやハスが描かれたふすま絵「蓮芦図」など37点。小早川



▲「含暉院旧書院障壁画 附 納め箱」の「蓮芦図」(佛通寺所蔵)



▲三原城本丸大広間の天井部材の一部(三原小学校所蔵)

☎文化課

☎0848・64・9234



▲「三原城本丸大広間建築部材」の杉戸「竹林虎図」(三原小学校所蔵)

隆景が慶長元(1596)年、佛通寺の含暉院を大改修したときに制作を依頼したものと伝わっています。等顔の初期の作品、桃山時代の絵画史研究において貴重な史料です。三原城の建築部材は本丸御殿の建具として使用されたと伝わる杉戸「竹林虎図」と木を格子状に組んだ天井部材6枚の計7点。どちらも16世紀末期ごろに作られたものだと考えられます。現存する御殿建築の部材は全国的に珍しく貴重です。明治時代に三原城本丸御殿の大広間を教室として使用していた三原小学校に引き継がれてきました。市の重要文化財は今回の指定を含めて202件になりました。

## 新庁舎建設通信⑥

### 通行止め区間が変わります

新庁舎の建設工事に伴い、本庁舎の南側道路を全面通行止めにしていましたが、2月13日(水)に通行止めを解除します。

新たに雨水管の埋設工事のため、3月上旬～7月上旬(予定)の間、本庁舎北側の道路を8時30分から17時まで、車両通行止めにします。それ以外の時間は通行できます。ご迷惑をお掛けしますが、ご理解とご協力をお願いします。



### 市役所新庁舎は3月下旬に完成し 5月7日(火)に業務開始の予定

建設中の市役所新庁舎は、外壁が完成し、建物を覆っていたシートが取り外されました。完成は3月下旬の予定です。その後、市民の皆さんを対象にし

た完成見学会、旧庁舎からの引っ越しなどを行い、5月7日(火)に開庁する予定です。

新庁舎の開庁後も、旧庁舎の解体や駐車場の整備などを行います。引き続き、ご迷惑をお掛けしますが、ご理解とご協力をお願いします。



▲シートの一部が取り外され、外観が現れた新庁舎(1月21日撮影)

### 免震用オイルダンパーの再検査を実施

新庁舎の地下には、8本の免震用オイルダンパーを設置していますが、メーカーによる検査記録データの書き換えが疑われたため、現在、第三者機関立ち会いの下、工場での再検査が行われています。適正な製品であることが確認された後、今月中旬までに全てのダンパーが再設置されます。工期への影響はありません。

☎総務課 ☎0848・67・6022